

瀬尾 春佳さん

瀬尾春佳さんは、「地産地消から地産地商へ、神石高原町の新たな銘菓作りに挑戦」と題して、神石高原町の耕作放棄地を借り受け、多くの農産物を栽培し、神石高原町の銘菓研究開発を行った体験を発表されました。「神石高原町産の農産物で作ったシフォンケーキは好評で、地元のケーキ屋さんとは協力して大量生産できる体制を作って、神石高原町の銘菓として、多くの方に喜んでもらいたい。」一歩進んだ地産地商への思いを会場に来ている全国の高校生に伝えました。



第58回 日本学校農業クラブ全国大会

10月24日（水）、県民文化センター（福山市）で第58回日本学校農業クラブ全国大会が開催され、県立油木高等学校から瀬尾春佳さん（産業ビジネス科3年）と中川義浩さん（産業ビジネス科3年）が中国ブロック代表で意見発表を行いました。審査員や多くの聴衆の见守る中、堂々の意見発表でした。

中川 義浩さん

中川義浩さんは、「地域の問題を資源に変える農業を目指して」と題して、耕作放棄地3haに繁殖牛4頭を放牧し、経費削減効果・牛の飼育環境への効果・環境保全に対する効果について研究した結果を意見発表しました。過疎化・高齢化が進む神石高原町で問題になっている耕作放棄地の大量の雑草が、見方を変えれば資源の宝庫に生まれ変わることができる。「私は、将来この資源を活かし、里山の保全を牛とともにやり、地域の活性化を図りたい」と「問題を資源に変える農業」への思いを力強く伝えました。

